

芸術華道

講 師	木 下 美 也	実施時期 単 位 数	第 1 学年後期 1 単位 (20 時間)	実務経験	—
一般目標 (GIO)	自然や四季を愛でる感性を磨き、心を豊かにし、長い歴史の中で育まれてきた華道を学び、自分たちの暮らす日本文化を理解する。				
授 業 概 要	華道の基本・実習として自由花を中心とした授業を行う。その中で草木花との触れ合いにより、やさしい心、素直な心、思いやりの心を大切に、心をこめて美しい花が生けられるように指導する。それと共に華道を通して道徳や礼儀作法の勉強ができる努力をしていきたい。				
学 習 方 法	講義・実習				
成績評価の方法	ノートによる採点80%、作品評価、出席状況20%				
教 科 書	はじめる いけばな 学校華道 日本華道社 池坊 いけばな スケッチノート 日本華道社				
履修上の注意	実習やテキストを参考に復習してほしい。				
参 考 書					
教員の職務経験 (科目との関連性)	「池坊華道の特色でもある「和の精神」(いけられた花だけでなく、花をいける過程をも大切に考え、人として美しくあることを願う。他を生かしてともに生きる。という考え)を通して華道の授業を行う」				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1 2	いけ花の心得 いけ花の分類、基礎 基本実習	華道を通して道徳、礼儀作法等の勉強ができる。 いけ花の形の自由化を学ぶ。 花ばさみ、剣山、花器の使い方、使った後の手入れを学び、草木を使い実習する。
3	池坊といけ花の歴史、変遷 基本実習	日本で生まれたいけ花と、日本の伝統文化を学ぶ。
4 5 10	基本実習	季節の花、草、木を学び知ることができる。 花の名前がわかる。 自然的表現と意匠的表現の技法を学ぶ。(花材の変形、加工を作る) 家に持ち帰った花の手入れの仕方を学ぶ。 花、草、木の色の取り合わせから作品を作ることができる。 作品をスケッチし、いけ方の参考にすることができる。